

税務相談からゲームコーナーまで。地域住民のための「空き店舗利用」

森 吉 町 商 工 会

機関名	森吉町商工会		
所在地	秋田県北秋田郡森吉町米内沢字寺の下 2 0 - 3		
電話番号	0 1 8 6 - 7 2 - 3 1 4 9		
地域概要	(1)管内人口 8 千人	(2)管内商店街数 2 商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1 商店街	(2)会員数 2 5 商店	
	(3)空店舗率 2 4 %	(4)大型店空き店舗数 0 店	
商店街の類型	1.超広域型商店街 2.広域型商店街 3.地域型商店街 4.近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 13 年度	空き店舗対策事業	情報交流館(チャレンジショップ、サロン設置、情報提供)カルチャー教室、イベント
	活性化対策事業	カード
	総事業費	4,022 千円

【事業実施内容】

1. 背景

秋田県北部の内陸に位置する森吉町は人口 7,800 人ほどの小さな町ながら、林業や鉱業の生産物が集積する場所として、周辺の阿仁町、上小阿仁村、合川町、など周辺町村の中心的な役割を果たしてきた。今回事業の対象となった「ほっとなるステーション森吉」が立地するのは、町の西部を南北に横断する秋田内陸縦貫鉄道米内沢駅周辺に広がる街区 300 メートルほどの商店街の中央部である。近隣市町並びに同地区内に大型店が相次ぎ出店し、また購買意欲低迷もあいまって、地元商店街の来客頻度が急激に減少。商店街の活性化に一翼を担ってきたスタンプ会の売り出しやイベント等もマンネリ化、資金難により魅力ある活動が難しい状況下であった。その中で、地域、行政、商工会が一体となった地域商店街活性化へのプランづくりを実施することとなった。



森吉町の位置

2. 事業内容

(1) 空き店舗対策事業

1) 「ほっとなるセンター森吉」の設置

商店街の中心部に位置する旧履物店の空き店舗を利用して、買い物弱者等を含めた地域住民の生活の快適性・利便性向上を図るための機能を持った地域情報の発信基地としての「ほっとなるセンター森吉」を設置し、同センターの機能や実施事業について検討・実施した。

事業開設期間 平成 13 年 7 月 16 日～平成 14 年 3 月 16 日

開設時間 午前 11 時～午後 6 時

開設場所 森吉町米内沢「旧竹田履物店跡地」

配置人員 パートタイマー3 名で常駐 1 名体制

施設機能

●安らぎと交流機能

ア) 憩いの場の設置

ベンチ・テーブル・テレビ・ビデオ・たたみ・赤ちゃんルーム

イ) 手荷物預り所

商店街や市日での買い物荷物の一次預かり、宅配サービスの実施

ウ) フリーマーケットの実施

エ) 地域住民伝言板の設置

オ) 商店街よろず相談コーナーの開設 (クレーム処理・商品知識等)

カ) チャレンジ・ショップスペース等の設置 (共同販売の実施等)

住民が商店街で販売事業ができるスペースを提供し新規創業者の創出

既存事業者の新たな販売戦略の実践活動の場の提供

キ) 趣味・遊び体験スペースの設置

囲碁・将棋・プレステ 2・カードゲームコーナーの設置

ク) 街角ギャラリー (児童の商店街絵画展)

ケ) 各種会議・催し物・展示スペースの設置

●情報提供機能

センター一カ所で商店街のお店情報や町内イベントが一覧でき、困り事相談へも専門家が対応する機能をもたせる。

ア) 商店街情報コーナーの設置 (売出情報、商品情報、イベント情報等)

イ) 税務相談日や法律相談日の開設

ウ) 個店紹介コーナーの開設

エ) 町内観光やイベント情報の提供

オ) 求人・求職コーナー (ハローワークとの連携)

カ) 携帯ホームページ情報の提供

2) 「ほっとなるカルチャー教室」事業の充実

既存のカルチャー教室では実施されない身近で商業者等の知恵をいかした話題性豊かなカリキュラムを設定し、誰でも参加できる雰囲気づくりをしながら、地域住民の快適

性の向上と消費者と商業者の交流の場を図る。

お魚おさばき教室 そば打ち教室 漬け物教室 ワインを楽しむ教室
パソコン教室 健康教室 税務教室 編み物教室

3) 販わい創出イベントの実施

共同販促事業の実施

既存の売り出しだけでなく、センターを中心としたイベントを企画し来店客の増員につなげる

よないざわ夜店の実施

飲食店、サービス業とも連携しながら夜店を開催し、商店街の存在感を地域住民にアピールするとともに、連帯意識の強化につなげる

ビアパーティの実施

商店街青年部による模擬店、生バンド演奏などで地域住民の交流の場を提供



「ほっとなるセンター森吉」は交流機能と
情報提供機能を備えた町民の憩いの場



税務相談



リサイクルショップ



パソコン教室



お茶を楽しむ教室



英会話教室

(2) 商店街活性化事業

1) 「ほっとなるライフカード」機能の充実

65 歳以上の高齢者に発行している「ほっとなるライフカード」のサービス機能を充実させ、将来的には高齢者だけでなく地域住民のほとんどが行政サービス・医療サービスへ利用できるシステムを構築する。

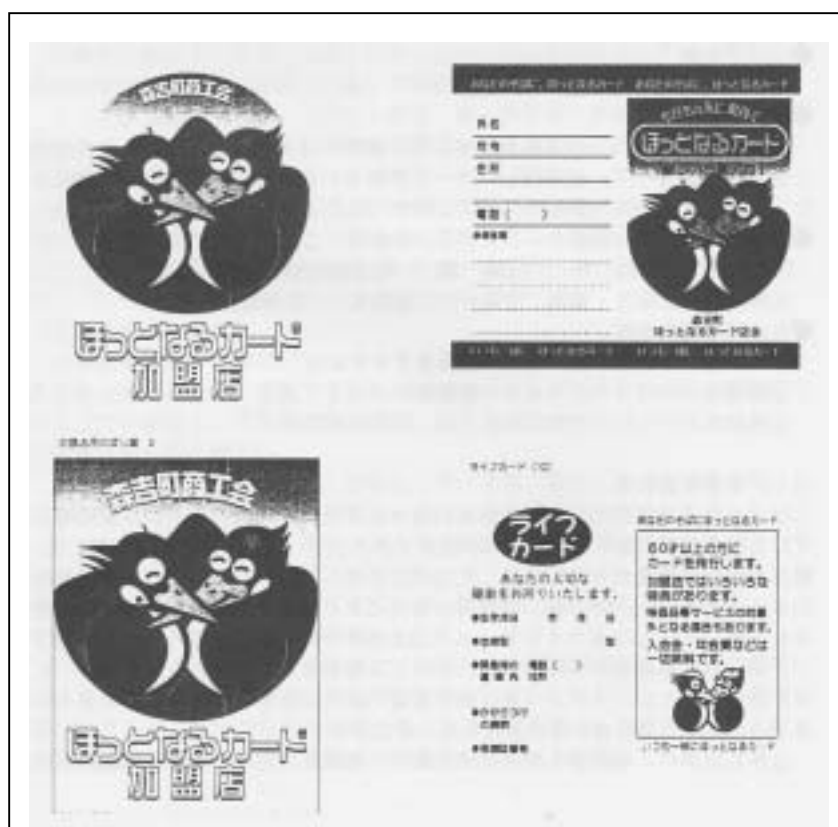
(注) 現在発行しているカードは紙製で、高齢者がカード協賛店で使用すれば 5% の割引特典がある。ただ、このカードでは、商工会として、商店街におけるカードの利用状況や顧客情報の把握ができない。したがって、磁気カードに変更し、カードの機能・利便性を向上させ、商店街の活性化につなげようとするものである。

地域商店街等によるサービス機能の充実

商品価格の割引サービス、ポイント制による割引サービス、タクシー割引サービス等を行い、地域商店における利用度を高める。

登録データの利用によるサービス機能の多様化の研究

ポイント利用方法の拡大、行政サービス・医療サービスとの共用化利用の可能性を探る。



ほっとなるカード加盟店目印とカード

(3) 事業実施期間 平成 13 年 4 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日

(4) 実施計画

1) 委員会等の開催	委員会の開催	4 回
	専門委員会の開催	4 回
2) 空き店舗対策事業	安らぎ交流機能の提供	通年
	情報の提供機能の提供	通年
	賑わい創出イベントの実施	随時
3) 商店街等活性化事業	ほっとなるライフガード機能の充実	システム構築調査：随時
4) その他	事業報告書の作成	100 部

【 効 果 】

地域情報の発信基地として、また地域住民の憩いの場として「ほっとなるセンター森吉」を設置し、商店街への誘客を図った。

中でも、遊び体験スペース（ゲームコーナー等）やハローワークとの連携による求人・求職コーナー、身近な題材をテーマにしたカルチャー教室は特に関心が高かった。

今までほとんどこなかった子供達が商店街に遊びに来たり、高齢者の憩いの場として利用されたり、地域住民と商店街との交流が図られた。

「ほっとなるセンター森吉」利用者数

(単位：人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
4月	252	12	13	20	17	35	349
5月	165	16	17	17	12	22	249
6月	187	14	7	27	14	46	295
7月	146	4	1	9	11	17	188
8月	283	14	30	55	58	227	667
9月	130	9	7	18	20	41	225
10月	181	6	5	26	25	31	274
11月	126	20	19	38	41	47	291
12月	112	24	28	52	33	70	319
1月	114	16	19	40	37	63	289
2月	70	10	10	25	24	33	172
3月	48	18	7	24	29	45	171
合計	1503	179	192	380	364	644	3489

【課題・反省点】

経費割合として空き店舗の改装費等に多く支出しており、単年度事業としては期間が中途半端となった面がある。

【教訓】

商店街が衰退し、商業者の事業意欲が低下している中での今回の事業は、商店街の活性化起爆剤とまではいかなくても、意識改革や地域住民との連帯意識の高揚にプラスになった。

ただ、「金がない」「後継者がいない」「やる気がない」等ないない尽くめの商店街において、活性化策を見いだすには非常に困難である。

商店街区といった面だけを強調して活性化策を模索してきたが、その基盤である個店の魅力が欠如している現状では集客に限界を感じている。

【関連URL】

森吉町商工会 <http://shoko.skr-akita.or.jp/moriyosi/>